

保健体育

東京書籍

大日本図書

大修館書店

学研

令和6年度

中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会

種目（保健体育）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい保健体育）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活での経験や既習事項を基に、多様な学習活動を通して知識及び技能が習得できるよう配慮がなされている。 ・ 「見つける→学習課題→課題の解決→活用する→広げる」で構成され、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫がなされている。 ・ 小学校や高等学校とのつながりや関連資料が示され、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指すことができる配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒の発達段階に応じて内容が学年別に配列され、見通しをもって学習できるよう配慮がなされている。 (2) 4つのステップで構成されており、学習過程が明確になり、生徒の主体的・対話的な学びを支える工夫がなされている。 (3) 体育分野や他教科との関連が明記され、単元以外の学習との関連を深めることができるよう配慮がなされている。 (4) 口絵や章末資料、巻末スキルブックが掲載されており、学習内容の知識・理解が深まるよう工夫されている。 (5) 位置を固定した定型デザインやユニバーサルデザインフォントを使用したり情報を厳選したりして、読みやすさへの工夫がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章扉に、その章の学習に関連する小学校及び高等学校の学習内容を明記し、学習の系統性を示す配慮がなされている。 (2) 日常経験などから自他の課題発見につなげる発問が設定され、主体的に課題解決に取り組む配慮がなされている。 (3) 学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設けられ、さらなる学びへの意欲を喚起するよう工夫がなされている。 (4) キーワードの解説や知識の定着を図るための問題が章末資料に用意されており、生徒が繰り返し習得状況を確認することができるよう工夫されている。 (5) 文章教材と写真や図表が関連付けられ、生徒が写真や図表を手掛かりに能動的に学んでいかれるように配慮されている。 (6) 「課題の解決」や「学習のまとめ」が設けられており、まとめや評価の観点が明確になるように工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見開き1ページが1単位時間、4ステップで構成され、学びの道筋が見え、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫がなされている。 ・ 各章末に章末資料、巻末には巻末スキルブックが示され、学習したことを発展的に深めることができるよう工夫がなされている。 ・ 各ページのQRコードからコンテンツが利用でき、動画資料や練習問題、学習カード等が手軽に使えるように工夫されている。

種目（保健体育）

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>大日本図書（中学校保健体育）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを実生活や実社会に生かし、豊かなスポーツライフを継続できるよう知識・技能の習得だけに偏るのではなく、様々な学習活動を通して三つの柱がバランスよく習得できるよう配慮されている。 ・章扉に小・中・高の学習内容が明記されており、今まで学習した内容を振り返ったり、見直しをもったりしながら学習を進めることができるよう配慮されている。 ・生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現していくために、自他の課題を発見し、解決していくための学習活動が工夫されている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 本文の記述量を必要最小限に抑え、見開きの半分は資料を提示することで、資料を基に自分自身の健康やスポーツライフを考えられるよう配慮がなされている。 (2) 体育理論・保健分野共に、全ての学習内容において知識として扱う重要語句がゴシックで強調されていると同時に、「キーワード」としてまとめられ、示されている。 (3) 章末資料が章内の学習内容と対応しており、より詳しい内容を学んだり、自分自身の実生活に活かしたりするための配慮がなされている。 (4) 本文下に「リンク」が設けられ、既習の内容、体育理論と保健分野間、他教科での学習が関連していることを理解できるよう配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章扉に小学校、高校の学習内容が示されており、学習内容の関連がわかり系統化が図られるよう配慮がなされている。 (2) 章末の「学びを活かそう」のページがあり、学習した内容を実生活でどのように活用していくか考えるための配慮がなされている。 (3) 「つかもう」では、実生活の身近な場면을想起させ、その後学習する内容が自身の健康やスポーツライフとつながっていることがイメージしやすいように配慮されている。 (4) 各内容に「活用して深めよう」があり、学習した内容について思考力・判断力・表現力育成のための視点が示されている。 (5) 「つかもう」「やってみよう」「話し合ってみよう」、また、章末の「学びを活かそう」の学習活動により、自分の心身の健康やスポーツライフを振り返り、より良くしていくための配慮がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学習で「つかもう」→「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」→「活用して深めよう」という流れになっており、学習内容と自身の生活を結び付けて考えられるよう配慮がなされている。 ・全ての学習で、見開きの半分が本文、半分が資料となっており、知識の習得だけではなく、資料を基に思考・判断するための配慮がなされている。

種目（保健体育）

発行者名 採択基準	大修館書店（最新 中学校保健体育）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容と生活を関連付けて考え、三つの学習活動を通して、知識及び技能の定着を図ることができるよう工夫がなされている。 ・ 学習した知識を基に自分の考えを表現したり他者と交流したりし、思考力、判断力、表現力等の育成を図る配慮がなされている。 ・ 小・中・高の学習内容を明記し、見通しや興味・関心をもって学習を進めていくことができるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き1ページに、1時間分の内容がまとめられており、生徒が見通しをもって学習できるよう配慮がなされている。 (2) 学びを広げたり、深めたりするために特集資料を設け、主体的・対話的な学びができるよう工夫がなされている。 (3) 各教科とのつながりを明記し、授業導入時に確認して学習が始まれるよう配慮がなされている。 (4) 資料で本文に出てくる言葉などを詳しく解説し、学習内容の理解が深まるように工夫がなされている。 (5) 導入の発問や資料を罫線で囲んだり、色覚の特性に対応した図やグラフを採用したりするなどレイアウトや色彩の工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 全ての章扉に小学校及び高等学校の学習内容が明記され、学習内容の系統化が図られるよう配慮がなされている。 (2) 導入で、既習の体育実技や各教科での学びとの関連を捉えられるよう配慮がなされている。 (3) 学習内容を深めるための様々な情報を明記し、学習内容の特徴に合わせた活動の配慮がなされている。 (4) 日常生活の見直しや理解の定着が図られるよう特集資料や章末問題を掲載するなど配慮がなされている。 (5) さし絵、写真、図表を基に自分の生活をイメージしたり、社会との関わりを考えたりできるよう工夫がなされている。 (6) 章末には3観点の問題を設け、理解の定着の確認や振り返りができ、評価の観点が明確になるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章末に特集資料を設け、学習内容を広げたり、深めたりすることができるよう配慮がなされている。 ・ 各学習内容が3ステップでシンプルに構成されており、主体的に学習が進められるよう配慮がなされている。 ・ 説明と資料の情報量のバランス、色彩やレイアウトが、見やすく分かりやすくなるように工夫されている。

種目（保健体育）

発行者名 採択基準	学研（新・中学保健体育）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れや1時間の流れ、さまざまな学習方法が明確に示され、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践ができるよう工夫がなされている。 ・体育と保健の両分野において、探究的な学習課題が豊富に用意されており、課題に対して主体的・対話的に取り組むことで、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力、健康の保持増進のための実践力を高められるよう工夫がなされている。 ・巻頭の関連資料から運動や健康・安全について様々な視点で見たり考えたり、毎時間のまとめとして「学びを生かす」に取り組んだりすることで、保健体育の学習を通じてよりよく生きようとする態度を育てられるよう工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等 〕	(1) 生徒の発達段階に応じて内容が学年別に配列され、3年間の見通しをもって学習できるよう配慮がなされている。 (2) 各章末の「探究しようよ!」では、複数の探究テーマが示されており、各自の興味・関心に応じた課題の解決に向けた学習ができるよう工夫がなされている。 (3) ページ下部に掲載される「情報サプリ」や「関連」、身近な課題を取り上げた「エクササイズ」や「実習」に取り組むことで、他分野や他教科、生活等と関連付けて学習できるよう配慮がなされている。 (4) 用語だけでなく、文章にも脚注がついており、理解をより深める手助けとなっている。また、すべての見出しに吹き出しがついており、学習の課題がより明確になるよう工夫がなされている。 (5) ユニバーサルデザインフォントの使用、グラフ等も含めた統一感のある配色、彩度を抑えた色の使用、区切り線を使用しない等、全体的にすっきりしたページ構成で読みやすいよう工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	(1) の扉に学習内容と小学校で学習したこと、高校で学習することが明記され、学習の系統性を示す配慮がなされている。 (2) 「関連」で分野相互の関連付けや他教科との関連付けがなされている。また、キーワードごとに体育偏と保健編、体育実技・各教科との関連が一覧にまとめられており、それぞれの関連がわかりやすく捉えられるよう工夫がなされている。 (3) さまざまな学習方法や課題学習の整理の仕方が示されるとともに、「エクササイズ」や「学びを生かす」の中に「協働」で取り組む課題が設定され、教え合い学び合えるよう工夫がなされている。 (4) 章のまとめに、その章で学んだキーワードとページ番号の記載、確認問題を設けることで、知識の定着が図られている。また、章のまとめの「生活への活用」や学年末の「年間の振り返り」を設けることで、自身の健康や安全への考えを深められるよう工夫がなされている。 (5) 写真は新型コロナウイルスや2022年以降に発生した自然災害など、最新のトピックが多く使用されており、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。 (6) 章のまとめは、「この章で学んだキーワード」・「振り返り」・「確かめよう」・「生かそう」で構成されており、「振り返り」では、評価の観点の明確化への工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元が「ウォームアップ」で課題をつかみ、「エクササイズ」や「学びを生かす」で実践的な課題解決能力の育成を図る一連の流れで構成されており、主体的な学びとなるよう工夫がなされている。 ・身近な課題を例として取り上げ、意見を出し合いながら対話的に学びを深めることで、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう工夫がなされている。 ・写真や資料の配置、適度な余白、使用する色数を減らすなど、読みやすい工夫がなされている。